

平成 年 月 日

食事の取り方について (1)

介護老人保健施設ばんなん白光園

近頃、_____様はご自分でお食事を取ることが難しくなりました。

食べ物で、形のあるものはつぶし、液状のものは固めるなどの工夫をして、食べて頂いておりますが、職員の観察によりますと、介助をしても食欲不振、あるいはむせ込みなどが強く、安全に、充分なお食事を召し上がることが困難になりつつあります。

そこで、今後の食事のとり方について、下記のいずれの方法がよろしいか、ご意向をお知らせ下さい。各項目は職員が説明いたします。また、質問もお受けいたします。

すぐには決められないことかも知れませんが、ご家族でご相談の上、お答え下さい。

なお、一度決めてから変更されてもかまいません。何度でもご意向を伺い、尊重します。

記

1. 口から食べることを続けてほしい。
2. 鼻から胃へ管を通して食事を食べさせてほしい。
3. 胃ろう（胃と腹に穴を開けて管を通す）を造って食事を食べさせてほしい。
4. 点滴などで生命を維持してほしい
5. その他

説明を受けた方

続柄

説明者

ばんなん白光園 医師

看護師